

第7章 保存・活用に関する取組

以下の取組については、市費（宿泊税の充当も検討）、県費、国費（文化財補助金・新しい地方経済・生活環境創生交付金等）、その他民間資金等を活用しながら進めます。

個別目標A「知る」

全ての世代への歴史遺産や伝統文化の理解の推進と愛着の醸成に関する取組

取組主体 [市民]市民 [所有]所有者 [行政]市・県・国
[団体企業]市民団体・企業・各種法人
[教育研究]学校・学術機関・研究機関

1 調査や価値付け

(1) 調査・記録

◎：実施主体 ○：受動的に関わる △：状況により協力

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
1	市内遺跡の発掘調査	埋蔵文化財を保護し次代に伝えるための埋蔵文化財の発掘等の調査を実施する。 ・開発事業により影響を受ける埋蔵文化財を記録保存する。 ・保存や活用の必要な遺跡の内容を確認する。 ・価値を明らかにするための調査を実施する。			◎		○	R7～ R16	市 国
2	広瀬城跡の調査	広瀬城跡の活用に向けた調査と価値付けを推進する。			◎		○	R7～ R8	市
3	高山城跡の調査	高山城跡の活用に向けた調査と価値付けを推進する。			◎		○	R7～ R10	市
4	高山市デジタルアーカイブ事業	飛騨高山独自の伝統やものづくりに対する心と技など、飛騨人としての誇りをもつ魅力を映像で記録する。生業や地域活動の話から、誇り、大切なものを掘り起こし、聞き書きとして記録する。	○		◎	○		R7～ R16	市
5	有形の民俗文化財の調査整理、台帳作成	市有の有形の民俗文化財の活用も視野に入れた調査整理を実施する。 ・大学等と連携した調査整理 ・台帳のデータベース化	○		◎	○	○	R7～ R16	市
6	歴史資料の整理、目録作成	歴史資料保存団体との協働により市有歴史資料の整理を行い、目録を作成する。			◎	○		R7～ R16	市
7	地域の歴史文化資源の研究・学習活動	まちづくり協議会等による地域の歴史文化資源の調査・学習・研究活動・記録保存等の取組及び行政による支援を行う。	○		○	◎		R7～ R16	団体 市 市民

(2) 価値付け

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
8	文化財の指定等の推進	新たな文化財指定等に向けた調査と価値付けを推進する。		○	◎			R7～ R16	市
9	メイド・バイ飛騨高山認証制度	「飛騨高山の風土と飛騨人の暮らしが生み出す本物、それが飛騨高山ブランド」(飛騨高山ブランドコンセプト)に合致する独自性と信頼性の高い地場産品を認証し、市の内外に積極的にPRする。			◎	○		R7～ R16	市

10	伝統的な食文化や伝統作物の振興	地域の食文化や伝統作物の掘り起こしや普及に取り組む。 ・飛騨・美濃伝統野菜(県) ・100年フード(文化庁)、にっぽん伝統食図鑑(農水省)等の認定の推進	◎	○			R7~ R16	市 県 国	
11	文化財の登録の推進	歴史的建造物の研究者や建築士と連携して登録有形文化財の登録を推進する。		○	◎		○	R7~ R16	市

2 普及啓発や情報発信

(1) 理解する機会の充実

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体 企業	教育 研究		
12	歴史や文化を学ぶための講座・講演会等の開催	歴史や文化を学ぶための講座・講演会の開催や、啓発冊子の発行を行う。	○		◎	○		R7~ R16	市
13	郷土の偉人に関わる情報収集や意識啓発	金森長近など郷土の偉人に関わる情報の収集と、偉業の顕彰による意識啓発を行う。	○		◎	○		R7~ R16	市 団体
14	地域の文化等を記録し公開する活動	まちづくり協議会による地域の文化等を記録し公開する取組及び行政による支援を行う。	○		○	◎		R7~ R16	団体 市 市民
15	小・中・義務教育学校郷土教育推進	各小・中・義務教育学校で、その地域の特色ある講師等を選定し、様々な学習活動を行うことにより郷土教育を推進する。 ・社会科副読本「飛騨の高山」等を学習に活用	○		◎	○	◎	R7~ R16	市

(2) 情報発信

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体 企業	教育 研究		
16	日本遺産の周知活動	パンフレットの作成配布等により、日本遺産である「飛騨匠の技・こころ 一木とともに、今に引き継ぐ千三百年」の周知を行う。			◎			R7~ R16	市
17	ICT等を活用した日本遺産の情報発信	ICTを活用した日本遺産構成文化財の紹介などによる日本遺産の普及啓発と活用を図る。			◎			R7~ R16	市
18	無形の民俗文化財等の映像等による記録保存と情報発信	伝統的な風俗慣習や年中行事など暮らしの中に伝わる文化を記録し、各種メディアを活用して情報を発信する。			◎			R7~ R16	市
19	VR技術等を活用した映像制作などの新たなコンテンツの整備	VR技術等を活用した映像制作等の新たなコンテンツを整備し、飛騨高山まちの博物館等での公開を行う。			◎			R7~ R16	市

個別目標B「守り伝える」

歴史遺産や伝統文化の着実な未来への継承に関する取組

3 保存

(1) 保存活用計画等の作成

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
20	国指定等の文化財の修理計画や保存活用計画の作成・見直し	計画的な整備を進めるため、国指定・選定文化財の個別の修理計画や保存活用計画の作成や見直しをする。		◎	○			R7～R16	所有市
21	松倉城等の整備・活用方針作成	保存と活用のバランスのとれた松倉城跡・広瀬城跡等の保存活用計画、整備計画を作成する。	○		◎			R7～R16	市市民

(2) 適切な保存環境

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
22	文化財保存管理の実施	各文化財所有者等において適切に文化財等を保存管理する。		◎	◎	○		R7～R16	市市民
23	天然記念物(植物)の保存環境の整備	天然記念物を良好な状態で保存管理するための環境を整備する。	○		◎	○	△	R7～R16	市
24	文化財保護巡視員との連携	文化財保護巡視員等との協力体制により、破損等の被害防止や、被害拡大の防止を図る。			○	◎		R7～R16	団体
25	埋蔵文化財の保護	開発事業者との調整や確認調査などにより埋蔵文化財を適切に保護する。		◎	○	◎		R7～R16	市団体

(3) 修理等の実施

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
26	高山祭屋台保存修理の実施	高山祭屋台及び屋台蔵について、修理が必要なものから順次修理を行う。		◎	◎			R7～R16	市県国
27	伝統的建造物群保存地区での修理・修景の実施	伝建地区内における伝統的な町並みを維持するため、伝統的建造物群保存地区内における伝統的建造物の修理及び非伝建物の修景を行う。		◎	◎			R7～R16	市国
28	景観重要建造物等修景事業(景観重要建造物)	景観重要建造物の修景工事に要した費用の一部を助成する。		◎	○			R7～R16	市
29	市街地景観保存区域建造物修景事業	市街地景観保存区域において、建築物の新築、増築、改築時に一定の要件を満たした建築工事に対し、その費用の一部を助成する。		◎	○			R7～R16	市国
30	伝統的建造物群保存地区拡大の取組	伝統的建造物群保存地区を拡大し、より広く伝統的建造物群を保護する。		◎	◎			R7～R16	市県国

(4) 歴史文化資源の公有化

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
31	郷土に関わる歴史資料等の公有化	郷土に関わる歴史資料等の流失、散逸を防ぐため市が購入し、市民の郷土学習に役立てる。			◎			R7～ R16	市
32	歴史的価値のある史跡等の公有化	歴史的価値のある史跡、建造物等を市が購入することにより公有化する。			◎			R7～ R16	市

4 保存展示施設

(1) 保存展示施設

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
33	市文化財施設等の役割分担	市営の保存展示施設等をコア施設、サテライト施設、収蔵施設に位置付け、役割分担に基づいた適切な資料管理や施設管理を行う。			◎			R7～ R16	市
34	市有の有形の民俗文化財について整理の方向性や価値付け基準の明確化	市有の有形の民俗文化財について、活用や記録保存なども視野に入れ、整理の方向性や価値付け基準を明確にしていく。			◎			R7～ R16	市
35	市有の有形の民俗文化財等の適切な保存環境の維持	市有の有形の民俗文化財等の適切な保存環境の維持と、収蔵庫等の計画的な改修や整備を進める。 ・文化財公開施設、収蔵庫での市有の有形の民俗文化財等の保存環境調査及び虫害対策等の実施 ・文化財収蔵施設の計画的な整備や改修			◎			R7～ R16	市

5 周辺環境整備

(1) 周辺環境の整備

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
36	歴史的な街道等の整備	歴史的な街道の整備などにより街道沿いの農山村集落の保存と活用を進める。	○		◎			R7～ R16	市
37	史跡等の環境維持	史跡等の文化財(こう峠口古墳、広瀬古墳、海具江古墳等)及び周囲の維持管理を行う。 ・草刈り等日常管理	○		◎			R7～ R16	市
38	歴史的な街道等の維持管理や環境整備活動	まちづくり協議会による歴史的な街道等の維持管理や環境整備活動の取組及び行政による支援を行う。	○		○	◎		R7～ R16	団体 市 市民
39	乗鞍登山道青屋みちの石仏の調査と維持補修	乗鞍登山道青屋みちで発見された石仏の現況確認(番号の明記等)と、維持補修を行う。		○	◎			R7～ R16	市
40	久々野城址遊歩道整備	市指定文化財の久々野城址まで遊歩道を整備し、他の文化財などとともに周遊できるコースを整備する。	◎		○			R7～ R16	市
41	こう峠口古墳の整備	こう峠口古墳の学術調査を実施し、適切な保存環境を整備する。			◎			R7～ R16	市
42	飛騨民俗村再整備事業	施設の周辺も含め、体験型観光の推進、バリアフリーの推進等の視点から再整備を進める。			◎	○		R7～ R11	市
43	無電柱化整備事業	歴史的風致の維持向上のため、道路の無電柱化整備を実施する。		○	◎	◎		R7～ R16	市 国 団体
44	まちかどスポットの整備	歴史的景観の向上のため、まちかどスポットの整備を実施する。	△		◎			R7～ R16	市 国

6 連携した取組

(1) 連携した取組

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
45	文化財保護事業	所有者や保存団体等への支援による歴史文化資源の保護活動の充実と適切な管理を進める。 ・史跡や伝承芸能等の保存団体の運営・活動に対する助成		◎	◎	◎		R7～ R16	市 団体
46	天然記念物(植物)の保護活動	まちづくり協議会による天然記念物(植物)の保護活動及び行政による支援を行う。	○		○	◎		R7～ R16	団体 市 市民
47	景観保全奨励事業	市街地景観保存区域保存会の活動を支援する。 ・景観保存会活動や美しい景観形成に資する修理・修景に対する助成の実施	◎		○			R7～ R16	市 国
48	緑地保全推進事業(緑のパートナー制度)(里山保全)	市指定保存樹等の管理に対する助成を行う。		◎	○			R7～ R16	市
49	美しいふるさと認証制度	高山固有の伝統文化、文化財、景観等を守る活動を行う団体を認証することにより郷土愛の醸成や保護活動を促進する。	◎		○	◎		R7～ R16	市
50	指定文化財保存修理	指定文化財の保存修理に対する所有者等への助成を行う。		◎	◎			R7～ R16	市 県 国
51	祭礼衣装等の復興	「高山祭の屋台行事」等の保存団体が行う祭礼衣装等の復興への助成を行う。		○	◎	○		R7～ R16	市 県 国
52	小屋名八幡神社・久々野八幡神社回り舞台保存	小屋名八幡神社回り舞台、久々野八幡神社回り舞台の保存措置を行う。		◎	○			R7～ R16	市 団体
53	飛騨産漆の確保	飛騨産漆の確保を目的に活動する団体への支援を行う。 市が所有する漆山の整備を行う。			◎	◎		R7～ R16	市 団体

7 体制づくりや人材育成

(1) 組織・体制づくり

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
54	こどもの伝承芸能に対する取組への支援	こどもが伝承芸能を続けていくための取組への支援を行う。			◎	◎		R7～ R16	市 団体
55	高山祭の屋台行事等の祭礼行事を維持継承するための仕組みづくりの検討	高山祭の屋台行事等の祭礼行事を維持継承するための仕組みづくりを検討する。		○	◎	◎		R7～ R16	市 団体
56	有形の民俗文化財等を保存・活用していくための体制整備	有形の民俗文化財や化石などの古生物学資料を保存・活用していくための体制を整備する。	△		◎	○	△	R7～ R16	市
57	白山ユネスコエコパーク推進事業	白山周辺の4県7市村が連携し、白山ユネスコエコパークの自然環境の保全と適切な利用を推進する。	○		◎	○	○	R7～ R16	市
58	地域の課題解決に向けた活動に対する助成	市民や市内の事業者、団体が主体となって取り組む地域の課題解決に向けた活動プランを募集しプランコンテストを開催。優秀なプランに選定されたものに補助金を交付し活動を支援する。	◎			◎		R7～ R16	市民 団体 市
59	文化財保存活用支援団体の指定の推進	文化財保存活用支援団体の指定を検討する。			◎	◎		R7～ R16	団体 市

(2) 技術者育成

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
60	高山祭屋台修理技術者の育成支援	高山祭屋台保存技術協同組合での保存技術研修に対する助成を行う。	○		◎	○		R7～R16	団体市
61	伝統的な技術の存続のための支援	・飛騨伝統的工艺品産業振興協議会への助成 ・連合協同組合及び飛騨一位一刀彫協同組合が行う事業に対して補助金を交付、原材料の共同購入資金を貸付 ・飛騨高山の名匠認定制度の運用 ・伝統的な技法による建造物の修理・修景等に対する助成	○	◎	◎	○		R7～R16	団体市
62	伝統工芸の文化と製作技術伝承のための活動	まちづくり協議会による伝統工芸の文化や製作技術伝承のための取組及び行政による支援を行う。	○		○	◎		R7～R16	団体市市民

8 防災・防犯

(1) 防災対策

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
63	伝統的建造物群保存地区防災対策	伝建地区内の防火帯としての土蔵等の整備事業に対する補助を行う。 ・防災設備等の整備		◎	◎			R7～R16	市県国
64	伝統的建造物群保存地区防災計画の見直し	伝統的建造物群保存地区防災計画の見直しを行う。		◎	◎			R7～R16	市
65	伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの運用と耐震化の推進	伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを運用し、耐震化の推進による歴史的建造物の保存を進める。		◎	◎			R7～R16	市所有者
66	高山市地域防災計画等に基づく取組の強化	高山市地域防災計画や、高山市国土強靱化地域計画に基づく取組を強化する。 ・文化財関連施設等の不燃化構造の促進 ・指定文化財等の建造物に、消火栓、消火器、自動火災報知設備等を設置 ・防火知識の普及を図るため、指定文化財等の所有者又は管理者は、毎年、防火管理、施設職員に対して講習会等を開催	◎	◎	◎	○	○	R7～R16	市所有者
67	文化財防火デーの取組	文化財防火デーにおける消防訓練などの文化財防火運動を展開する。	◎		◎	○	△	R7～R16	市

(2) 防犯対策

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
68	文化財の防犯に対する啓発等の対策	・文化財所有者に対し、防犯設備の設置の推奨などの防犯対策の周知や啓発等を行う。 ・市民に対し、歴史文化資源に対する愛護精神を高めるための啓発等の取組を行う。 ・文化財保護巡視員による定期巡視や警察との連携を進め、地域や関係機関と一体となった防犯対策を進める。 ・盗難等が発生した場合は、文化庁で運用されている所在不明文化財の情報提供サイトに情報を登録し、早期発見に努める。		◎	◎			R7～R16	市所有者

個別目標C「活かす」

歴史遺産や伝統文化の活用と、活用できる人づくりの推進に関する取組

9 活用

(1) 公開・活用

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
69	所有者との公開活用協定の締結などによる指定文化財の公開活用	文化財所有者との公開活用協定の締結により、指定文化財の公開活用を推進する。		◎	◎			R7～R16	市
70	展示保存施設の機能の充実と特別展・企画展等の開催	飛騨高山まちの博物館等の展示公開機能の充実や、特別展・企画展等の開催を行う。	○		◎			R7～R16	市
71	飛騨高山まちの博物館での歴史や文化に係る展示公開や教育普及	飛騨高山まちの博物館にて、城下町高山を中心とした歴史や文化についての資料収集や調査研究、特別展の開催、教育普及などの活動を行う。	○		◎		○	R7～R16	市
72	飛騨高山まちの体験交流館での伝統工芸の実演・体験・展示の実施	飛騨高山まちの博物館と連携し、伝統的工芸品などの実演、体験、展示並びに、交流広場の提供により特産品PRイベントや、まちなか活性化イベント等を実施する。	○		◎	○		R7～R16	市
73	県文化財保護センターとの連携による資料展示	市内の発掘調査に伴い出土した埋蔵文化財の企画展示を行う。			◎		◎	R7～R16	県
74	有形の民俗文化財の公開活用	特別展等の開催による有形の民俗文化財の公開活用を図る。	○		◎		○	R7～R16	市
75	文化財標柱・説明看板等の整備	文化財標柱・説明看板等の整備により、文化財等の周知を行う。		○	◎			R7～R16	市
76	歴史文化資源を活かした周遊を促すための整備	歴史文化資源を活かした周遊を促すための説明板や標柱、散策ルート等の整備を行う。	○		◎			R7～R16	市
77	日本遺産サイクルラリー	日本遺産構成文化財ほか歴史文化資源が多く所在する荒城川流域をめぐるルートを設定する。			◎			R7～R16	市
78	日本遺産フォトラリー	日本遺産構成文化財を巡るフォトラリーを設定し、参加者に日本遺産カードを配布する。			◎			R7～R16	市
79	文化財めぐりウォークラリー	コースごとの参加用紙に書かれたヒントに従って、クイズに答えながら、指定文化財である史跡などを巡る。			◎			R7～R16	市
80	観光資源の情報発信	各種観光パンフレット、ポスター等に文化財等を掲載し、高山市の観光コンテンツの構成要素の一つとして紹介する。			○	◎		R7～R16	市 団体
81	海外戦略推進事業	海外からの旅行者等に対し、文化財等に関する情報発信を行う。 ・多言語観光パンフレット・ホームページ等の作成・運用 ・各種外国人旅行者誘致促進事業の実施 ・地域通訳案内士の育成・確保等、受入環境の充実			◎	○		R7～R16	市
82	観光案内所での情報発信	市営の観光案内所にて、文化財等に関する情報発信を行う。			◎	○		R7～R16	市
83	高山祭事業	祭協賛会組織への支援により官民一体となった誘客宣伝を行う。 ・観光客の安全な誘導に必要な資材の調達や警備の実施など来訪者の受入体制の整備			◎	○		R7～R16	団体 市
84	イベント助成事業	観光関連団体や観光関連事業主が主催する、歴史文化資源を活用した観光イベントに対する助成を行う。			○	◎		R7～R16	市

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
85	観光施設での歴史文化資源の公開活用	市所有観光施設(飛騨民俗村・飛騨の里、荘川の里、四十八滝公園等)の管理運営を行う。			◎	○		R7~R16	市
86	中部山岳国立公園活性化推進協議会事業	岐阜県内の中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化を図るため、「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画」に基づき、自然を楽しむ、人を育て未来につなぐ、安全で快適な環境をつくる取組を、地域一体となって推進する。	△		◎	○	○	R7~R16	市
87	飛騨山脈ジオパーク構想推進事業	飛騨山脈の成り立ちにより形成された地形地質(ジオ)、自然(エコ)、観光(ツーリズム)を組み合わせた新たな自然体験ツアーの造成やプロモーション活動の充実、地域人材の確保・育成等を行う。	○		○	◎	○	R7~R16	市
88	体験プログラム利用促進	歴史文化資源の様々な地域資源を活用した体験プログラムの造成や利用促進に対する助成を行う。			○	◎		R7~R16	市
89	奥飛騨温泉郷活性化事業	奥飛騨温泉郷活性化基本構想に基づく同地域の活性化に向けた各種事業を実施する。			◎	○		R7~R16	市
90	若者等活動事務所(歴史的建造物)の公開活用	下二之町大新町伝統的建造物群保存地区の伝統的建造物に特定されている築140年を超える大規模な町家(旧村田邸)を公開し、歴史的建造物の保存・活用を図る。	○		◎	○	○	R7~R16	市
91	歴史や自然を生かした公園の整備や管理	都市公園・地区公園の管理運営、まちかどスポット・市道の街路樹の維持管理を実施する。 ・都市公園及び地区公園の改修と維持管理 ・まちかどスポットの維持管理	△		◎			R7~R16	市
92	文化芸術活動支援事業補助金	相談窓口の設置や補助金による財政支援、活動場所の提供や情報発信支援を通して、市民の主体的な文化芸術活動を促進し、文化芸術の振興を図る。	◎	◎	◎	△	△	R7~R16	市
93	高山市所蔵美術品展の開催	市が所蔵する美術品を広く公開し、市民に対して文化芸術に接する機会を提供するため、飛騨・世界生活文化センター等で展覧会を開催する。	◎		◎	◎	△	R7~R16	市
94	高山市美術展覧会の開催	市の美術文化の振興のため、市内外から広く作品を公募し、市展運営委員の審査により選出された優秀作品を高山市民文化会館で一般に公開する。	◎		◎	◎	△	R7~R16	市
95	高山市文化伝承館の管理運営	市民の間に深く根付いた伝統文化を学び、親しみ、伝承するとともに、市民の文化意識の高揚を図るために設置された高山市文化伝承館を管理運営する。	◎		◎	◎	△	R7~R16	市
96	飛騨春慶弦楽器の活用	市の貴重な財産である飛騨春慶弦楽器を用いて演奏会を開催し、弦楽器に多くの市民が触れ親しむことができるよう継続的に有効活用する。	○		◎	◎		R7~R16	市
97	市民のための施設の無料公開	市民が家族と一緒に地域の文化や魅力に触れ、愛着を深める機会として、文化施設の無料公開を実施する。(高山市民憲章推進協議会)	◎		◎	◎		R7~R16	団体市
98	高山市消防出初式の実施	天保14年(西暦1843年)正月、時の郡代が火消し組を召集、検閲を行った際、各火消し組が掛け声勇ましく陣屋前広場に集まったのが始まりと言われ、当時の火消し組が先を争い陣屋前に駆け込んだ勇姿を今に伝える伝統行事を毎年1月5日に実施する。	◎		○			R7~R16	市
99	88作戦	乗鞍登山道青屋みちの当初の道跡をたどりながら、登山道開設時に安置された石仏を探す。	◎		○	○		R7~R16	市民市団体

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
100	文化財巡り等の実施	地域の歴史や文化の再発見を目指し、主に地域住民を対象とする文化財巡りや講演会、展示等を行う。	○			◎		R7～R16	団体市
101	歴史的な街道での体験イベント開催等の活動	まちづくり協議会による歴史的な街道での体験イベント開催等の取組及び行政による支援を行う。	○		○	◎		R7～R16	団体市市民
102	化石発掘教室等の開催	化石発掘教室や研究機関と連携したワークショップ・最新研究を紹介する講演会の開催を行う。			○	◎	○	R7～R16	団体市

10 活用するための人づくり

(1) 歴史文化資源を活用できる人材育成

No.	取組	取組内容	取組主体					実施時期	財源
			市民	所有	行政	団体企業	教育研究		
103	語り部養成講座の開催	郷土の歴史を易しく語りこつことのできる人材を育成する。	○		◎			R7～R16	市
104	地域における伝統文化を守り伝える人材の育成による保存活動の充実	文化財保存団体等による人材育成等の活動に対する助成を行う。		◎	◎	◎		R7～R16	市
105	オープンカレッジ in 飛騨	大学のない飛騨地域で、誰でも気軽に受講することができるように実際の大学の講義を行う。			◎	◎	○	R7～R16	団体市
106	ガイド人材育成	地域の歴史や文化の魅力を子どもや来訪者に伝えるため、ガイド人材の養成と派遣を行う。	○		○	◎		R7～R16	団体市